

2. 保育士課程（保育士養成課程）【こども教育学科】

本学部のこども教育学科は、保育士資格の取得が可能です。

保育士資格を取得しようとする者は、各学科の卒業要件単位（68単位）を修得するとともに、児童福祉法施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。〔児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号〕

保育士資格取得希望者は1年次に「委託費等実費（保育士資格）」を短期大学部教務課窓口に入してください（金額・納入期日は後日お知らせします）。

■ 電子ピアノ教室の使用等方法等について

1. 使用対象者

- (1) 「音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、および「幼児と表現B」、「保育内容「表現B」の指導法」の履修者
 - (2) 本学短期大学部こども教育学科在籍者の保育士資格取得希望者
 - (3) 本学短期大学部こども教育学科在籍者の幼稚園教諭二種免許状取得希望者
- 課外活動・個人の趣味での使用は認めません。**

2. 使用時間帯

- (1) 授業のおこなわれない時間帯
- (2) 月曜日から金曜日の午前9時～午後6時、土曜日の午前9時～午後3時とします。
(火曜日のみ、午前10時30分～午後6時となります。)
ただし、夏・冬・春休み等授業の行われない期間については午前9時～午後4時までとします。
- (3) 一回の使用時間は原則として90分以内とします。

3. 使用方法

- (1) 使用者は短期大学部実習指導室で使用台帳に必要事項を記入の上、「ピアノ室の鍵」を受取ります。鍵の貸し出し受付は、午後4時45分までとします。土曜日については、「音楽Ⅰ」担当教員に申し出てください。
- (2) 使用後は短期大学部実習指導室へ鍵を返却してください。
なお、ピアノ室を最後に退室する学生は、ピアノ室を施錠し、鍵をすみやかに短期大学部実習指導室まで返却してください。
返却時間が午後4時45分以降となる場合は、鍵を紫英館受付（守衛室）へ返却してください。
- (3) ピアノ室内外に私物を放置しないでください。一定期間経過後処分することがあります。

履修をはじめるにあたって
シラバス
単位制度と開設方法
授業科目の履修登録
成績評価
教育課程の編成方法
諸課程
その他
学修生活の手引き
学務保健センター 障がい学生室について 授業休止の取り扱い基準 学籍の取り扱い
付録

(1)「保育実習Ⅰ（保育所）」・「保育実習Ⅰ（施設）」・「保育実習Ⅱ」・「保育実習Ⅲ」の先修条件について

これらの実習科目を受講するには、次の条件を充たしていることが必要です。

①「保育実習Ⅰ（保育所）」※1年次

以下に掲げる科目を修得済みであること。

- ・「幼児と環境」 1単位 1年次 前後期
- ・「保育実習指導Ⅰ」 2単位 1年次 前期
- ・「保育原理Ⅰ」 2単位 1年次 前期
- ・「図画工作Ⅰ」 1単位 1年次 前後期
- ・「保育内容総論」 1単位 1年次 前期

②「保育実習Ⅰ（施設）」・「保育実習Ⅱ」・「保育実習Ⅲ」※2年次

以下に掲げる科目を修得済みであること。

- ・「社会福祉」 2単位 1年次 後期
- ・「社会的養護Ⅰ」 2単位 1年次 後期
- ・「子どもの保健」 2単位 1年次 前期
- ・「子どもの健康と安全」 1単位 1年次 後後期
- ・「幼児と健康」 1単位 1年次 前後期
- ・「幼児と言葉」 1単位 1年次 後後期
- ・「幼児と人間関係」 1単位 1年次 前後期・後後期
- ・「保育の心理学Ⅰ」 2単位 1年次 前期
- ・「特別支援保育」 2単位 1年次 後期
- ・「保育実習Ⅰ（保育所）」 2単位 1年次 後期

条件となる科目が不合格（単位未修得）の場合、2年間での資格修得が不可能となるので注意してください。

(2)保育士資格取得に必要な単位数

本学こども教育学科で保育士資格を取得するには、卒業要件単位（68単位）を修得するとともに、以下のとおり定められた単位を修得する必要があります。

厚生労働省告示278号による修業教科目・単位数			左記に対応する本学こども教育学科開講の科目				履修要件	
系列	教科目	単位数	授業科目	開講期間	配当年次(単位数)			
					1年	2年		
教養科目	外国語、体育以外の科目	(-)	6単位以上	仏教の思想（講義）	通年	4		必修
				情報処理基礎（講義）	半年	2		必修
	外国語	(演習)	2単位以上	英語Ⅰ（演習）	通年	2		必修
	体育	(講義)	1単位	スポーツ文化ⅠA（講義）	半年	2		必修
(実技)		1単位	スポーツ文化ⅠB（実技）	通年	2		必修	
保育士養成課程（必修科目） 〈告示別表第1による教科目〉		51単位	表1（必修科目）に記載		51単位	必修		
保育士養成課程（選択必修科目） 〈告示別表第2による教科目〉		18単位以上 (うち保育実習3単位以上)	表2（選択必修科目）に記載		30単位	「保育実習指導Ⅱ」（必修）、「保育実習指導Ⅲ」（必修）及び「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」のいずれか（選択必修）を含め、9単位以上履修すること。		

保育士養成課程

表 1 (必修科目) 下記の本学部開講の科目をすべて履修すること。

保育士養成課程 (必修科目)				左記に対応する本学こども教育学科開講の科目				備考
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目	開講期間	配当年次(単位数)		
						1年	2年	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理Ⅰ	半年	2		
	教育原理	講義	2	教育原理・社会学	半年		2	
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	半年		2	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	半年	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	半年		2	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	半年	2		
	保育者論	講義	2	教職論	半年	2		
理解に 関する 科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学Ⅰ	半年	2		
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	半年		2	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	半年		1	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	半年	2		
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	通年		2	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程総論	半年		2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	半年	1		
	保育内容演習	演習	5	保育内容「健康」の指導法	半年	1		
				保育内容「人間関係」の指導法	半年	1		
				保育内容「環境」の指導法	半年	1		
				保育内容「言葉A」の指導法	半年	1		
				保育内容「表現A」の指導法	半年		1	
	保育内容の理解と方法	演習	4	保育内容「表現B」の指導法	半年		1	
				児童文化	半年	1		
				図画工作Ⅰ	半年	1		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	半年		2	
				乳児保育Ⅱ	半年		1	
				子どもの健康と安全	半年	1		
				障害児保育	半年	2		
社会的養護Ⅱ				半年		1		
子育て支援				半年		1		
保育実践演習Ⅰ				半年	2			
保育実習	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	半年	2			
			保育実習Ⅰ(施設)	半年		2		
保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	半年	2			
			保育実践演習	半年		2		
保育実習指導Ⅱ	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	半年		2		
合計			51	合計		27	24	

履修をはじめるにあたって

シラバス

単位制度と単位の認定

授業科目の開設方法

履修登録

成績評価

教育課程

教育課程の編成方法

諸課程

その他

学修生活の手引き

授業休止の取り扱い基準

学籍の取り扱い

付録

保育士養成課程

表 2 (選択必修科目) 「保育実習指導Ⅱ」(必修)、「保育実習指導Ⅲ」(必修)及び「保育実習Ⅱ」
または「保育実習Ⅲ」のいずれか(選択必修)を含め、9単位以上履修すること。

保育士養成課程(選択必修科目)				左記に対応する本学こども教育学科開講の科目				備考	
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目	開講期間	配当年次(単位数)			
						1年	2年		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理Ⅱ	講義	15 以上	保育原理Ⅱ	半年		2		
	保育と人権	講義		保育と人権	半年	2			
保育の心理学の理解に関する科目	保育の心理学Ⅱ	講義		保育の心理学Ⅱ	半年		2	2024年度不開講	
	教育心理学	講義		教育心理学	半年		2		
保育の内容・方法に関する科目	幼児と健康	講義		幼児と健康	半年	1			
	幼児と人間関係	講義		幼児と人間関係	半年	1			
	幼児と環境	講義		幼児と環境	半年	1			
	幼児と言葉	講義		幼児と言葉	半年	1			
	幼児と表現A	講義		幼児と表現A	半年	1			
	幼児と表現B	講義		幼児と表現B	半年	1			
	保育内容Ⅱ(言葉)	演習		保育内容「言葉B」の指導法	半年		1		
	基礎技能Ⅱ(音楽)	演習	音楽Ⅱ	半年		2			
	基礎技能Ⅱ(図画工作)	演習	図画工作Ⅱ	半年	1				
	基礎技能Ⅲ(音楽)	演習	音楽Ⅲ	半年		2			
	家庭管理	講義	家庭管理	半年		2			
	宗教教育	講義	宗教教育	半年	2				
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ	通年		2		
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	半年	1		15回中、12回(5分の4)以上出席が必要	
	保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅲ	通年		2		
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ	半年		1	15回中、12回(5分の4)以上出席が必要	
合計			18単位以上	合計			30単位		

■ マーカーの授業科目は2024年度不開講